

# さかもとマイタウン情報

編集・発行 地域のビタミン坂本公民館

## 地域でこんな楽しい催しごとをやっていきます! ふれあいサロン「中洗井三」におじゃましました!

3月28日(土)に洗心会館(12-3区可知忠勝区長)でふれあいサロン「中洗井三」が地域の65歳以上のお年寄りのみなさんを招待して楽しく開催されました。区長、副区長さんが計画立案し、食生活改善推進員さん、民生委員さん、健康推進員さん、福祉協力員さんなどで実行委員会を組織して、

手作りのごちそうや健康体操、ドルチェさんの演奏をお茶とデザートをいただきながら、楽しむというリッチな企画でした。みなさんの笑顔がとっても素敵です

ごちそうを作ります



すべて手作りで

腹ごなしにひだまり苑の柴田さんの健康体操



そして歌を歌ったり、ドルチェさんのフルーツやオカリナの演奏に酔いしれました!

話もはずみます



### やっぱり地域のつながりが一番! 楽しく一日過ごせました!

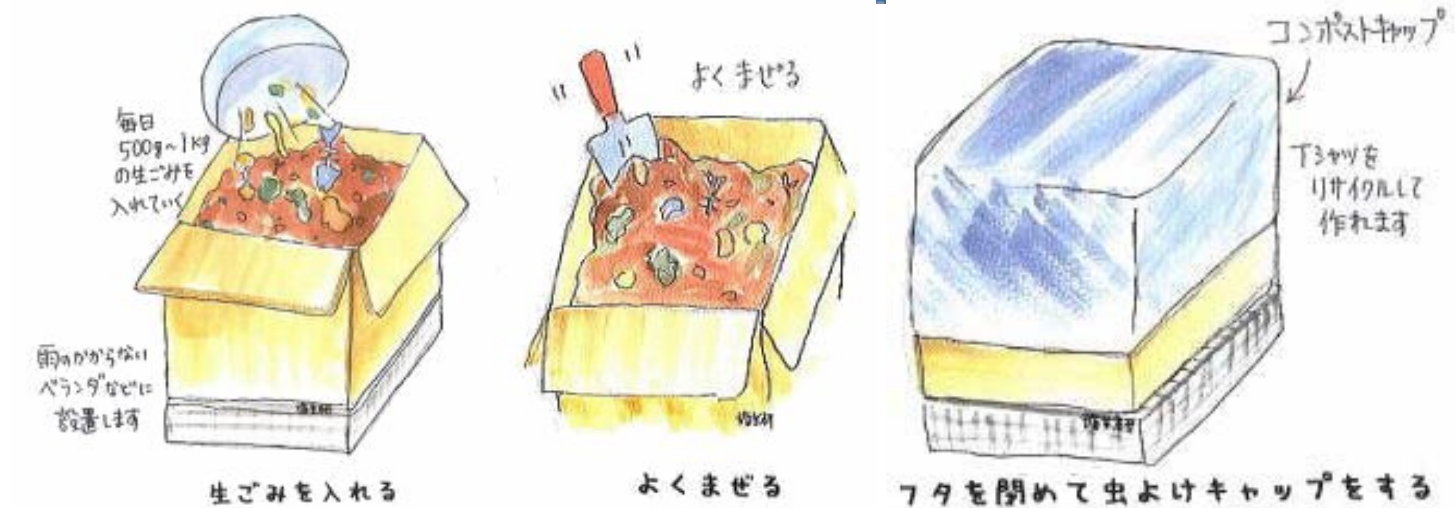
# 循環型の生活を始めませんか? ~ダンボールコンポスト~

3月24日に坂本公民館で「生活学校」が開催され、市環境政策課と環境センターの職員がダンボールコンポストの説明と生徒さんにモニターの依頼を行いました。現在の日本はあまりにも多くの資源を浪費しています。お金を払えば何でも手軽に手に入ると同時に手軽にゴミとして捨ててしまう現在の状況は、自然とのサイクルが完全に断ち切れた状態です。こんな状況は永遠に続くわけがありません。これは確実な崩壊へのプロセスで、自然と全く調和していません。政府や企業に任せるのではなく、私たちの日常の習慣を少し変える事こそが大きな一歩です。最近は電動生ゴミ処理機などが市町村の補助などで出回っていますが、維持費にくわえてエネルギーを消費する上、自然と完全に切り離している点が循環型社会に適應しているとは言えません。これからは環境調和型・エネルギーを浪費しないライフスタイルが必ず必要になると考えています。中津川市でもダンボール生ゴミコンポストを推進しています。あなたも挑戦してみませんか?



袋の中はピートモスともみ殻を炭状にしたものが入っています

みなさん、熱心に説明を聞き、職員は質問せめに!



箱の中には生ゴミを分解させるための基材(ピートモスなど)と炭(微生物の住み家)を入れます。そして、この中に毎日生ゴミを入れるだけです。外部から菌を入れるのではなく、野菜くずや基材に付着している様々な微生物が自然に生ゴミを分解して堆肥化するしくみです。腐敗(腐ること)と分解は全く違います。ダンボールコンポストは分解のプロセスを上手に整えるので腐った臭いがほとんどしません。ダンボールコンポストにかかる時間は1日のうちわずか2~3分です。どうか生活の中に「循環」を取り入れてください。やってみるとわかりますが、結構「かわいい」存在になります。1日のうちに何回も見てしまったり、微生物が活発に働くのにはこんなものを入れてみよう・・・などいろいろ研究してしまいます。生徒さんの中には既にダンボールコンポストをやってみえる人もいて、貴重な体験談を紹介してくれる人もありました。モニターになられた生徒さん、調子はどうですか?実は、私もモニターをやっていますが、なかなか分解されません。水分が足りないのかな?最近ではプンプンも寄ってくるし、かみさんにはぶつぶつ言われるし、とにかく微生物くん、がんばってくれ!!





いつまでも守りたい  
ふるさと坂本の自然を！

西林地区のカタクリ



岐阜県指定天然記念物  
シテコフシ岩屋堂群生地

## はなのき老人クラブが「はなのき会」で復活しました！



ここしばらく休眠状態でした「はなのき老人クラブ」が「はなのき会」と名称を変更し、復活しました。4月4日にはなのきセンターで打ち合わせを行い、会長には小木曾光春さん（中洗井3）が選出されました。坂本の

中心部の由緒ある老人クラブの復活、おめでとうございます。中洗井、三津屋、中平の60歳以上のみなさんぜひご加入下さい。待ってます。公民館も応援しますよ。

## 坂本地区農地活性化委員会が発足しました！



3月13日に坂本コミュニティセンターで第1回坂本地区農地活性化委員会が開催されました。委員会の構成は農業委員さん4名、農業委員補助員さん4名、まちづくり推進協議会農林部会から部会長・副部会長さん、農事改良組合長さん、認定農業者の方が2名、坂本農産物直売所代表の方、JA坂本支店営農係長さんの15名です。自己紹介と市農業振興課から委員会の役割の説明を受け、委員長に丸山忠幸さん（農業委員）、副委員長に新井正一さん（農事改良組合長）を選出しました。その後、市農業委員会事務局から耕作放棄地の現状と今後の対応について説明があり、また坂本地区の農業についての課題を話し合う中で、委員会の今後の方針を現地調査を踏まえて決定していくことを確認しました。耕作放棄地は、我が国の食料供給力確保の観点のもとより、国土保全・水源かん養等の農業の有する多面的機能の発揮の観点からも大きな課題となっています。また、地域においても、病虫害・鳥獣被害の発生・拡大、農地利用集積の阻害、水利施設管理への支障といった営農面での悪影響、さらには、廃棄物の不法投棄、景観の悪化等、地域住民の生活環境面でも大きな課題となっています。課題は山積していますが、「農は国の本なり」です。ぜひ、農業に夢を持たせて、坂本地区の耕作放棄地が無くなるように期待しています。

## とっても痛かったワン！ 狂犬病の予防接種 坂本のワンちゃん大集合！



なんだか嫌な予感

俺に触るんじゃねえ

これで病気にならずに  
すむからよかったワン



狂犬病は日本国内では、人は昭和29年を最後に発生がありません。また、動物では昭和31年を最後に発生がありません。現在、日本は狂犬病の発生のない国です。しかし輸入感染事例としては、狂犬病流行国で犬に咬まれ帰国後に発症した事例が、昭和45年に1例、平成18年に2例あります。「狂犬病予防法」に基づき、91日齢以上の犬の所有者は、その犬を所有してから30日以内に市町村に犬の登録をし、鑑札の交付を受けるとともに、狂犬病の予防注射を犬に受けさせ、注射済票の交付を受けなければなりません。また、交付された鑑札と注射済票は、必ず犬に付けなければなりません。日本国内には狂犬病の発生はありませんが、近隣諸国では狂犬病がまん延しており、日本への侵入リスクは皆無ではありません。犬を飼われている方は、社会に対する責務として、犬の登録と年1回の狂犬病の予防注射を必ず行ってくださいね。ちなみに、平成21年3月末現在で中津川市全体の登録犬数は6141頭、坂本地区の登録ワンちゃんは969頭でした。



お尻にチクッ

お尻にチクッ

お尻にチクッ

お尻にチクッ

お尻にチクッ

お尻にチクッ

お尻にチクッ

お尻にチクッ

首にチクッ